

ワシントン大学短期英語プログラム

札幌校 養護教育専攻 1年 牧野 果南

1 授業について

初日にオリエンテーション、筆記・リスニングと面接の試験があり、それをもとにクラス分けされます。筆記試験は文法や単語を聞くようなものばかりでしたが、面接試験もかたくりしいものではなく、シアトルでなにをしたいかなどを聞かれました。そのあとに行われたプチキャンパスツアーで大学敷地内をひとつとおりに案内してもらったあとワシントン大学在籍中に使える学生証や、バスで使える ORCA カード・U-PASS を作ることができます。

普段の授業は私のクラスは 9 時 30 分から 12 時 20 分まででした。クラスメイトはほとんどが日本人でしたが、授業中は母国語禁止でした。授業内容は発音練習やシアトルのおすすめのレストランや観光地などを先生が紹介してくれる機会が多かったように思います。そのほかには『Sleepless in Seattle』というシアトルを舞台にした映画を見て、映画の中で使われている英語表現を学びました。毎週金曜日は普段と同じように授業をしますが、授業を少し短縮してワシントン大学内にある、世界の民族文化について知ることができる Burke Museum を訪れたり、先生が作ったキャンパス内の建物に関するクイズを解くというアクティビティなどがありました。授業時間内なので普段と同じ時間に終わり、午後は自由に使えます。また、最終課題としてプレゼンテーションがありました。2,3 人のグループを作り、あるトピックをひとつ決めてそれについて街の人にインタビューし、まとめました。大学周辺にもダウンタウンにも多くの人がいまして、ほとんどの方がこころよく答えてくれて質問しやすかったです。日本とアメリカの様々な文化の違いを知ることができる良い機会になると思います。

毎週火曜日と木曜日には STEP Field Trip というものがあり、シアトル市内の主要な観光地をまわることができます。参加は自由なので、自分の予定に合わせて参加することができます。アクティビティの内容によって人数に変化がありました。私はほとんどのアクティビティに参加しましたが、自分たちだけでは行けないくらい遠い場所にも行けるので良い経験になったと思います。



↑ Field Trip で Pike Place Market
に行きました。

2 シアトルの都市やワシントン大学について

私のホームステイ先はホストファザーとホストマザーの 2 人と、外国からの留学生 3 人でとても賑やかでした。みんなで一緒に出かけることはありませんでしたが、ホストファミリーの息子や孫の家に行き来したり、たくさんの人との交流がありました。

大学のキャンパス内には図書館や学部ごとの建物などがたくさんあり、3 週間ではすべて行くことはできませんでした。私がよく行った HUB という建物には BOOK STORE (ワシントン大学生協) や学食の他に STARBUCKS や床屋まであり、多くの学生が集まっていました。学食にはピザのお店や SUBWAY があり、たくさんの種類から選ぶことができます。他にも大学の敷地内外に学生が多く集まる学食がいくつもありました。また、HUB にはビリヤードやボ



ウリングもできる施設もあり、大学とは思えないほど充実していました。キャンパスの外にも

↑大学の中庭でクラスメイトと先生と写真を撮りました。

大学に関連する建物があり、街全体がワシントン大学の一部のようなイメージを持ちました。

大学からバスに乗ってダウンタウンに行くことができるので、私はよく行っていました。日本とは違う街並みで新鮮でした。日本にあるショップも数多くありましたが、シアトルにしかないお店をめぐることができ、新しい発見があって楽しかったです。ダウンタウンからいろいろな観光地に行けるので授業が終わったあとに行ってみることをおすすめします。

シアトルは私が想像していたよりも安全な街だったように思います。お店のスタッフだけではなく街の人も優しく、買い物やバスに乗る時など様々な場面で助けられました。日本で生活するよりも便利な面や良い点がたくさんあると思います。しかし、危険な面もあることを知っておくべきです。大学近辺やダウンタウンは活気があり、人通りが多いですがホームレスも日本より多かったように思いました。日本とは違うということを常に意識して行動することが大切だと思います。



↑コロンビアセンターから見た景色

3 次回参加するみなさんへ

私がシアトルに行って思ったことは、英語の勉強に行く前にしておくべきだということです。アメリカに行くということは楽しみでもあります、日本にいるときのように言葉がうまく通じないため不安もあると思います。シアトルでは英語表現やスピーキングを磨くくらいの気持ちで、文法や単語を事前に勉強しておくとお実際にいった時の不安も軽くなると思います。また、自分の英語が通じない・現地の方の英語が聞き取れないなどもどかしい思いをすることもあったので、そこでも事前の勉強が大切だと痛感しました。

シアトルに行って何を勉強するか、何に注目するかを自分の中で明確にしておく、さらにシアトルでの滞在が有意義なものになります。私の場合は古い海外ドラマで知っていたアメリカの文化と今のアメリカの文化の違いを見つけることを目標としていました。実際にあまりたくさん見つけられなくても別の視点で見ると普段見つけられない発見があるかもしれません。余裕があれば注目ポイントを決めておくといいと思います。

また、私は心配性なので行く前から小さなことでもあれこれ心配していましたが、行ってみるとそこまで心配するほどのことはありませんでした。たいていのものはアメリカでも買えるし、絶対に忘れてはいけないもの(パスポートや現金など)さえあれば大きな心配を抱える必要もありません。もしも心配しすぎて不安になるなら自分でできる限り調べてから出発したほうが、行ってからも気持ちに少し余裕ができると思います。